

JACET Kansai Newsletter

No. 88 November 7, 2020

一般社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 植松 茂男 (同志社大学) (Chapter President: Shigeo UEMATSU, Doshisha University)

事務局: 〒520-2194 大阪市瀬田大江町横谷1番5 龍谷大学 社会学部 今野 勝幸 研究室内
(Chapter Office: c/o Katsuyuki KONNO, Faculty of Sociology, Ryukoku University)

URL: <http://www.jacet-kansai.org/> (関西支部へは左の URL からご連絡ください)

「大学教育 With コロナ」

照井 雅子 (副支部長)

近畿地方では10月23日に「木枯らし1号」が吹きました。1981年、93年と並んで観測史上最も早く、今年は例年より早く秋が深まるそうです。これから寒さに向かう中、インフルエンザ感染症に加え、今年は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響が心配されます。「With コロナ」の只中にあり、会員の皆様の研究面・教育面にも制約が生じていることと思いますが、今回は教育面について寄稿させていただきます。

今年度は入学式の中止が相次ぐ中でスタートしました。4月7日に緊急事態の発生が宣言され、休校措置が取られました。前期は全面的な遠隔授業を行うことになり、極めて短い期間に教職員が一丸となって準備に励み、各大学で利用していた Learning Management System (LMS) と、急きょ導入を決め、ほとんどが初めて利用することになった Zoom 等の Web 会議サービスのそれぞれや、それらの組み合わせによる授業運営となりました。対面でのコミュニケーションの機会がなくなったことや、海外渡航や留学プログラムの中止による学生さんの不利益は大きく、外出もままならない中で自宅での遠隔授業が続き、日々の大半をパソコンに向かって課題をすることに費やした学生さんたちは気の毒でした。そうした学生さんたちに少しでも良い環境と良い授業を提供したいと関係者の誰もが願い、十分に行き届かなかった面もあったとは思いますが、教職員も例年以上の仕事量を黙々とこなしました。学生さんたちはよく頑張りましたし、学生さんたちも教職員も遠隔授業の長所と将来性、さらに大学教育の課題に気づき、向き合えたという利点もあったと思います。

後期授業では一部の科目で感染防止に努めながら対面で行う授業が再開されています。個々の大学の事情や方針、科目特性によって割合は異なるものの、対面授業、遠隔授業、対面と遠隔を組み合わせた所謂ハイブリッド授業が行われており、その実現に様々な工夫や配慮が施されています。例えば、感

染防止のために教室定員の半分程度の受講生を対象とした対面授業を実現するには、2倍の数の教室か教員を確保する、同一教員が同じ授業を2回行う、学生が交代で隔週で受講する、あるいは同じ授業を半数の学生が教室で、残り半数がオンラインで受講するなどの対策が必要です。教室定員と受講者数とクラス数が都合良く合うとは限らず、簡単な話ではありません。また、例えば午前中に遠隔授業、午後に対面授業がある学生さんは、午前中に自宅でオンラインで受講した後、通学して午後の対面授業に出席しますが、通学時間が長く授業に間に合わない学生さんには大学内に人と間隔をとって着席でき、落ち着いて遠隔授業に出席できるスペースを用意し、午前の授業も大学で受講してもらうといった対応も必要です。あるいは、対面授業のために通学する学生さんが受講するその他の科目の学習機会を確保するため、オンデマンドで当該科目が受講できるよう予め教員が授業を録画・録音して LMS 等で提供するという工夫もなされています。

一方で、対面授業の機会を増やしてほしい、増やすべきだという声も学生さんや保護者の方々から上がっており、それを報じる媒体も増えてきました。大学は授業を提供するだけでなく、人と人が出会い、コミュニケーションを交わし、仲間と共に学ぶ場であるという観点から、SNS では「大学生の日常も大事だ」「大学に行きたい」「対面授業」といったキーワードでの投稿が続いています。

こうした流れを受けてか、文部科学省 (文科省) が8月25日から9月11日に「大学等における後期等の授業の実施方針等に関する調査*1」を全国1060校を対象として実施し、その結果を公表しています。また、この調査期間中の9月15日に「大学等における本年度後期等の授業の実施と新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について (周知)」として、文科省から留意点の「通知*2」がありました。さらに10月16日付で文科省から、その「通知*2」

に対する各大学等の取組状況を把握するため、「調査*1」で対面授業の割合が全体の半分未満となる見込みと回答した大学に「大学等における本年度後期の授業の実施状況等について（再調査）*3」の依頼がありました。調査期間は約1週間と短く、「対面授業（調査票では「面接授業」と記載）」の定義も明確でないように見受けられますが、回答内容は大学名を含めて11月に公表されるとのことです。

*1 https://www.mext.go.jp/content/20200915_mxt_kouhou01-000004520_1.pdf

*2 https://www.mext.go.jp/content/20200916-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf

*3 https://pf.mext.go.jp/admission/re_corona_lesson.html

（いずれも2020年10月25日現在）

文科省が目指すように、各大学はCOVID-19の感染拡大防止策を講じながら学生さんの学習機会を確保する努力をすべきですし、すでにしていると思われませんが、各大学の所在地域の感染状況や学生数による違い、設備・人員・予算といったリソースの制約、大学や学部の特性による授業編成の違いといった個別の事情に触れずに、定義も曖昧な「対面授業（面接授業）」の割合を単純な数値を用いて評価することには違和感を覚えます。所謂オンライン授業は対面授業の代替で劣るものだという印象に流されず、実施しているオンライン授業の内容を分析し、質をさらに高めようとする取り組みはJACETを含む多くの学会ですでに始まっています。感染を心配し対面授業を避けたいという一部の学生さんの希望に応じる必要もあるでしょう。

COVID-19の世界的大流行は英知を結集することでいずれ必ず収束しますし、その日が近いことを祈る気持ちは誰もが同じです。学生さんや保護者と教職員、あるいは教職員と文科省が対立することなく、立場の違いを超えて対話を重ねたいものです。感染症対策はどこまで行うのか、全科目・全学生を対象とした対面授業を目指すのか、そうでないなら全学生に対し週に何度と対面授業の機会を設けるのか、あるいは1年生対象・実験実習・ゼミ等、科目に優先順位をつけるのか、対話の論点はいくつもあると思います。

11月14日に予定されている今年度の関西支部大会は、オンライン（オンデマンド）で開催されます。事前申し込みは必要ですが、どなたもご参加いただけます。対話の良いきっかけになればと願います。（近畿大学）

■ 2020年度第2回支部講演会の報告 ■

2020年度第2回支部講演会（リスニング研究会による講演（シンポジウム））が、2020年10月17日（土）

に、オンラインで開催されました。24名の参加者がありました。JACET関西初のオンラインイベントとなりましたが、多くの方々にご参加頂くことができました。素晴らしいご発表を行ってくださった講師の先生方、及びご参加頂いたみなさまにはこの場をお借りして御礼申し上げます。

日時：2020年10月17日（土）15:30～17:00

会場：オンライン

テーマ：

「開発テキスト *Power-Up College English <Basic>* の実践報告とリスニングに関する多角的な実証研究について」

演題と講師：

(1) 「*Power-Up College English <Basic>* の概要と実践報告」

神野雅代先生（四天王寺大学）

(2) 「第二言語のリスニング発達における“理解可能なインプットの重要性”-fMRI 脳機能イメージングデータからの検証-」

梶浦真由美先生（愛知淑徳大学）

(3) 「気づきを高めるためのリスニング指導」

松村優子先生（近畿大学）

The Kansai Chapter Second Lecture Meeting of the 2020 academic year organized by the Listening SIG was held online on Saturday, October 17. The first online meeting of JACET Kansai went smoothly. We'd like to give a special thanks to the lecturers who gave wonderful presentations and a total of 24 participants.

Date: October 17 (Sat), 2020, 15:30-17:00

Venue: Online

Theme: Practical Report on the Material Development of *Power-Up College English <Basic>* and Empirical Research on Listening

Titles & Speakers:

(1) Practical Report on the Material Development of *Power-Up College English <Basic>*

Ms. Masayo Kanno (Shitennoji University)

(2) The Importance of “Comprehensible Input” on Second Language Listening: Evidence from fMRI Brain Imaging Data

Ms. Mayumi Kajiura (Aichi Shukutoku University)

(3) Noticing Enhancement in EFL Listening Instruction

Ms. Yuko Matsumura (Kindai University)

■ 2020 年度関西支部大会のお知らせ ■

2020 年度関西支部大会を以下の要領で開催します。

日程：2020 年 11 月 14 日（土）～11 月 21 日（土）
方法：インターネットによるオンデマンド動画配信
大会テーマ：「変化の時代を生きる英語教育 2：テクノロジーと Well-Being」

基調講演：“Wellness/Positive Psychology in ELT Online – by a Non-Techie”

Marc Helgesen 先生（宮城学院女子大学 教授）

特別講演 1：「コミュニケーション場の可視化と納得型の学習支援」

三宅 美博 先生（東京工業大学 教授）

特別講演 2：「コロナ禍中の Society 5.0/DX 時代における英語・世界観教育 -Dominus illuminatio mea-」

小張 敬之 先生（青山学院大学 教授）

特別講演 3：“Microsoft Teams for the Classroom:

Beyond Emergency Remote Teaching (ERT)”

Matthew Barbee 先生（同志社大学 助教）

企画シンポジウム：「新型コロナ禍における Well-Being の向上を目指したオンライン教育」

ファシリテーター：植松 茂男 先生

（同志社大学 教授）

講師：岩居 弘樹 先生（大阪大学 教授）

小張 敬之 先生（青山学院大学 教授）

その他、研究発表4件、実践報告9件、賛助会員発表10件などの動画公開が予定されています。

*詳細は同封のプログラムをご参照ください。

申込について

動画の視聴には事前登録が必要です。是非ご参加下さい。事前登録は下記の URL よりお願いします。

<https://forms.gle/6TfVon63sJHyYh6a8>

◆事前申込み締め切り：11月13日（金）

* Kansai Chapter Conference 2020 *

The Kansai Chapter Conference for the year 2020 will be held as follows:

Date: November 14 (Saturday) – 21 (Saturday), 2020

Method: On-demand distribution of video files online

Conference Theme: “English Language Education in a Time of Rapid Change 2: Technology and Well-Being”

Keynote Lecture: “Wellness/Positive Psychology in ELT Online – by a Non-Techie”

Professor Marc Helgesen (Miyagi Gakuin Women’s University)

Special Lecture 1: “Visualization of Communication Field and Co-Creative Learning Support System”

Professor Yoshihiro Miyake (Tokyo Institute of Technology)

Special Lecture 2: “English and Worldview Education in the Society 5.0/DX Era during COVID-19”

Professor Hiroyuki Obari (Aoyama Gakuin University)

Special Lecture 3: “Microsoft Teams for the Classroom: Beyond Emergency Remote Teaching (ERT)”

Professor Matthew Barbee (Doshisha University)

Planned Symposium: “Online Education for Bettering Well-Being in the Midst of the Novel Coronavirus Pandemic”

Speakers: Professor Hiroki Iwai (Osaka University)

Professor Hiroyuki Obari (Aoyama Gakuin University)

Facilitator: Professor Shigeo Uematsu (Doshisha University)

There will also be video presentations of 4 research papers, 9 practical reports, and 10 publishers’ presentations.

*For further details, please see the enclosed program for details.

Please pre-register to view the video files during the Conference. The deadline for pre-registration is November 13, 2020. Use the following link to complete your pre-registration.

<https://forms.gle/6TfVon63sJHyYh6a8>

We look forward to your participation!

■2020 年度第 3 回支部講演会のお知らせ■

2020 年度第 3 回支部講演会は、アカデミックリテラシー研究会による講演会を予定しています。皆さまのご参加をお待ちしております。

1. 日時：2021 年 3 月 20 日（土）15:30～17:00（予定）

2. 場所：オンライン（予定）

詳細は、後日、JACET 関西支部ホームページやメー

リングリストでお知らせ致します。

Kansai Chapter Third Lecture Meeting of AY 2020

The Kansai Chapter Third Lecture Meeting of the 2020 academic year organized by the Academic Literacy SIG will be held as follows:

1. Date: Saturday, March 20, 2021, 15:30–17:00
2. Venue: Online

Details will be announced later on the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org/meeting.html>) and via the mailing list.

■ その他 ■

10月21日付けで配信しました「(訃報) 吉田晴世先生」につきまして、以下のご投稿を拝領致しましたので、この場を借りて掲載させていただきます。他にも電話で御連絡をいただいた先生方の分も込め、追悼の辞とさせていただきます。 植松茂男

『吉田晴世先生を偲んで』

本年10月後半、植松支部長からの支部配信MLで、私自身初めて、晴世先生のご逝去を知りました。既に8月に亡くなられたというご連絡でした。

最後にお会いしたのは、昨年夏の全国英語教育学会弘前大会の先生のワークショップです。実はその時、私自身ちょっとした驚きがあったのですが、既に闘病生活をされていたのでしょうか。

思えば晴世先生が摂南大学、私が被昇天女子短大の時代から、ずっと研究仲間として適度な距離感を保ちつつ、接しさせて頂きました。1995年5月に立ち上げた、JACET 関西リーディング研究会もその当初から、信介先生とともにご出席いただき、共同研究、共著本の執筆、LLA (現 LET)、JACET、KELESなどの学会役員として、また実に多くの懇親の会(国外も含む)などでご一緒させて頂きました。また私の所属する大学院でも、その設立時から科目をご担当いただきました。

今回の訃報に接し、色々と私の胸の中に去来するものがあり、まだまだ気持ちの整理はつきません。ただ、今後もずっと私たちの研究活動を見守り続けていただければありがたいです。先生のご冥福をお祈り申し上げます。

門田修平 (関西学院大学)

■ 事務局より ■

Messages from the Kansai Chapter Office

今年の支部大会はオンラインで開催されます。講演・発表の動画が11月14日(土)から11月21日(土)の間で公開される予定です。是非ご覧いただければと思います。

JACET 関西支部の本年度の行事も、支部大会と第3回支部講演会を残すのみとなりました。どちらも奮ってご参加ください。

■ 会員情報の変更 ■

支部事務局からのご連絡のメールが、宛先不明等で数多く戻って参ります。今一度、JACET 本部事務局にご登録のメールアドレスをご確認ください。

—————・—————・—————・—————・—————
紀要、講演会案内フライヤー、ニューズレターなどのお届けに支障が生じるおそれがございますので、ご所属先や郵送先住所情報についても、再度ご確認ください。

会員情報(住所、メールアドレス、所属、電話番号など)が変わられた方は、**必ず本部事務局(jacet@zb3.so-net.ne.jp)まで**ご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・修正・管理は行っておりません。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone numbers, and other information to **the JACET Main Office (jacet@zb3.so-net.ne.jp)**.